

Panasonic®

パナソニック オート ストロボ PE-36S

取扱説明書

このたびはパナソニックストロボ<PE-36S>をお求めいただきまして、
まことにありがとうございました。

- ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 保証書はお求めの販売店からお受け取りのうえ、内容をよくご確認いただき、
後々のためこの説明書とともに大切に保存してください。



保証書別添付

	ページ		ページ
もくじ			
■安全上のご注意	1~4	■ワイドパネルセット	14
■各部の名称	5	■オート撮影	15
■操作部の名称と機能	6	■オート撮影のご注意	16
■表示パネルについて	7	■マニュアル撮影	17
■電池の入れ方	8	■モデリング発光	18
■バウンスロック解除	8	■バウンス撮影	19
■使用上のご注意	9	■キャッチライト撮影	20
■テスト発光	10	■スレーブ機能の使い方	21
■エネルギーセービング	10	■スレーブ機能	22
■カメラへの取り付け方	11	■デイライト撮影	23
■シャッタースピードの決め方	12	■仕様	24~26
■アングルズーム機構	13	■アフターサービスについて	裏表紙

■安全上のご注意 必ずお守りください

■お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 **警告**



発光部を人の目に近づけて発光させたり、手や物で覆ったまま発光させない。(視力障害、やけど、火災の恐れがあります。)



分解、改造はしない。(ストロボには高電圧回路が組み込まれているため、感電の原因となります。)



外装ケース等が破損し、内部が露出したときは絶対に露出部分に触れない。(感電の原因となります。)



運転中の車内でストロボを発光させない。
(交通事故につながる恐れがあります。)



外部電源使用時、電源コード・プラグを破損するようなことはしない。(傷付いたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、機器にまき付けたり、束ねたりしない。火災・感電の原因となります。)

■安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 警告



充電式ニカド電池、ニッケル水素電池は、専用充電器を使用する。

(液漏れ、発熱、破裂の原因となります。)



電池の極性 (+、-) を逆に入れない。

(液漏れ、発熱、破裂の原因となります。)



電池は火の中に入れてたり、充電、ショート、分解、加熱しない。

(液漏れ、発熱、破裂の原因となります。)



古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混用しない。

(液漏れ、発熱、破裂の原因となります。)



このストロボには単3形アルカリ電池、単3形ニカド電池、単3形ニッケル水素電池以外は使用しない。

(液漏れ、発熱、破裂の原因となります。)

 警告



マニュアル(FULL)で3秒間隔以内の連続発光は25回以上しない。
(発熱、やけどの原因となります。)



長期間使用しない時は、電池を本体から取り出す。
(液漏れの原因となります。)

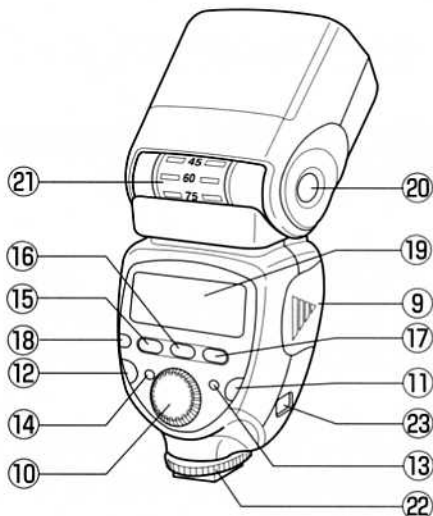
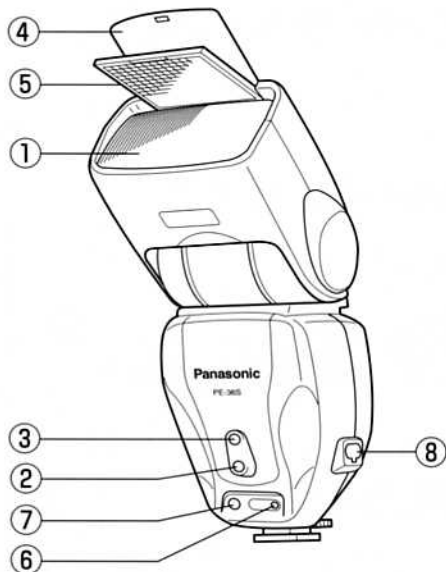


万一、ストロボが熱くなる、煙がでる、焦げ臭いなどの異常を感じたら、直ちに使用を中止して、可燃物をはなす。
(火災、やけどの原因となります。)



ストロボを水につけたり、水をかけたりしない。
(火災、感電の原因となります。)

各部の名称



- ① 発光部
- ② オート受光窓
- ③ スレーブ受光窓
- ④ キャッチシート
- ⑤ ワイドパネル
- ⑥ シンクロコードソケット
- ⑦ リモートセンサーソケット
- ⑧ 外部電源ソケット
- ⑨ 電池蓋
- ⑩ ロータリースイッチ
- ⑪ 電源ボタン
- ⑫ テストフラッシュボタン
- ⑬ パイロットランプ
- ⑭ オートチェックランプ
- ⑮ モードボタン
- ⑯ セレクトボタン
- ⑰ ズームボタン
- ⑱ 照明ボタン
- ⑲ 表示パネル
- ⑳ バウンスロック解除ボタン
- ㉑ バウンス角度表示
- ㉒ シューロックナット
- ㉓ モデリング発光ボタン

■操作部の名称と機能

セレクトボタン

設定項目を選択するボタンで1回押す毎に下記のように切り替ります。

→絞り値→光量切替え(マニュアルとスレープの時)→
露出補正→ISO感度

モードボタン

発光モードの選択ボタンで1回押す毎に下記のように切り替ります。

→オート→マニュアル→スレープ

照明ボタン

表示パネルを約16秒照明します。

テストフラッシュボタン

押すと発光します。

オートチェックランプ

オート撮影時、光量レベルがOKなら点灯します。

ロータリースイッチ

絞り値、光量、露出補正、ISO感度を設定します。

ズームボタン

照射角度を切り替えるボタンです。

エネルギーセービング設定

照明ボタンとセレクトボタンを同時に押すと設定状態となり、もう一度押すと解除状態となります。

電源ボタン (ON/OFFスイッチ)

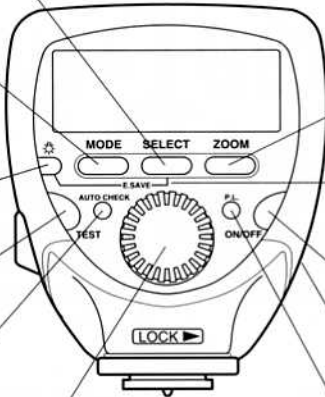
電源のON/OFF切替えスイッチ

モデリング発光ボタン

押すとモデリング発光します。

パイロットランプ

充電完了時に点灯します。



表示パネルについて



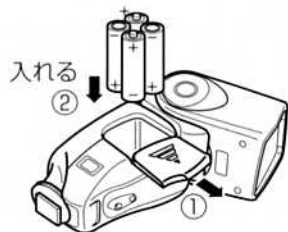
※上図の表示値の周りの [] は実際の表示パネルでは、一ヶ所のみに表示されます。

[] で囲まれた場所の数値は、ロータリースイッチを回せば変更できます。

■電池の入れ方

(使用電池：単3形アルカリ電池またはニカド電池またはニッケル水素電池各4本)

- (1) 電池蓋を図のようにスライドさせて開けます ①
- (2) 電池4本を電池ケース内の表示にしたがって正しく入れます ②
- (3) 電池蓋を閉じます。



《ご注意》

- 電池は別売りですので、別途お買い求めください。
- 電池は必ず4本とも同じ種類のものを使用してください。
- ニカド電池またはニッケル水素電池をご使用の場合は専用充電器（別売り）で充電したものを使ってください。

ニカド電池・ニッケル水素電池について



Ni-Cd Ni-MH

使用後は、リサイクル協力店にお持ちください。

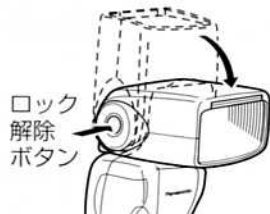
外部電源使用の場合

このストロボに別売りの外部電源を使用される場合でも、本体に必ず単3形電池を4本入れてください。外部電源だけでは動作しません。

外部電源(別売りオプション) ● 積層電源部2型 ● TRパワーバック2型
● ACユニット4型

※メモリー機能：電池交換時にメモリー機能を保持したい場合は、電池交換前に電源ボタンを押してOFFにしてから行ってください。

■バウンスロック解除



PE-36Siは、発光部が正面水平、上方90°を向いている時は、容易に動かないようにロックされています。

バウンス撮影等で、発光部を動かす時はロック解除ボタンを押しながら行ってください。

※発光部が正面水平方向の時、表示パネル部に距離表示が出ます。

発光部を動かすと、距離表示が点滅します。

バウンス角度が-7°の位置でも点滅します。

■使用上のご注意

ニカド電池・ニッケル水素電池使用時のご注意

- 充電は、電池メーカー指定の充電器を使用して取扱説明書に従って充電してください。
- 種類の違う電池や新旧の電池は一緒に充電しないでください。
- 過充電や過放電は、電池の機能が低下します。避けてください。
- 電池が使用直後等で熱い時は一度常温に戻してから充電してください。
- 正しく充電を行っても、充電時間や発光回数が極端に低下した場合は寿命切れです。交換してください。

アルカリ電池の場合

- 温度の低い場所で使用される場合

常温時（20℃）に比べて、発光回数が減少したり発光間隔が長くなるなど電池の性能が低下しますので、予備の新しい電池を準備されることをおすすめします。ただし、低温のため性能の低下した電池でも常温に戻せば性能は回復します。

ストロボ本体のご注意

- 高温のところに放置しないでください。
40℃以上になるような場所に放置したり保管したりしないでください。高温になると内部構造に悪影響があります。（特に夏季の自動車内での置き忘れにご注意ください。）
汚れたときは布に水、または台所用洗剤を少しつけてふいてください。（シンナー・ベンジンなどの溶剤はプラスチック表面を溶かしますので、使用しないでください。）

■ご使用まえに

このストロボは発光部にワイドパネルが装着できるようになっていますが、通常使用（24mmより長い焦点距離のレンズ）の場合には、ワイドパネルは収納しておいてください。

■テスト発光

- (1) 電池が正しく入っていることを確認します。
- (2) 電源ボタン (ON/OFF) を押し、数秒待つとパイロットランプが点灯します。
- (3) 液晶のモード表示が[A]か[M]になっていることを確認します。
※この表示がスレートの時はテストフラッシュボタンを押しても発光しません。
- (4) パイロットランプの点灯を確認し、テストフラッシュボタンを押して発光すると正常です。
- (5) 発光を確認した後、電源ボタンをもう一度押すと電源が切れます。



●フラッシュストップ機構

ストロボをカメラに取り付けたまま、ストロボを一時的に使用しない場合は、電源ボタンを押してOFFにすればシャッターを押しても発光しません。

■エネルギーセービング

電源を入れたまま、約20分間経過すると、電源が自動的にOFF状態になり、電池の無駄な消費を防止します。撮影を間欠的に行う等、継続して使用したい場合はこの機能を解除することもできます。

●エネルギーセービングの設定方法

照明ボタンとセレクトボタンを同時に約1秒間押しつづけると、設定されます。
設定されると、表示パネルに[E.S]が表示されます。

●エネルギーセービングの解除の方法

もう一度、上記動作を行えばエネルギーセービングを解除することができます。
解除されれば、表示パネルの[E.S]表示は消えます。



■カメラへの取り付け方

●ホットシュー付きカメラの場合

カメラのシューに差し込み①、シューロックナットを十分に締め付けます②。シンクロコードは必要ありません。

●ホットシューのないカメラの場合

別売りのナショナル/パナソニックストロボ専用30cmシンクロコード (PP-SA/P3) でカメラのシンクロターミナルにつなぎます。

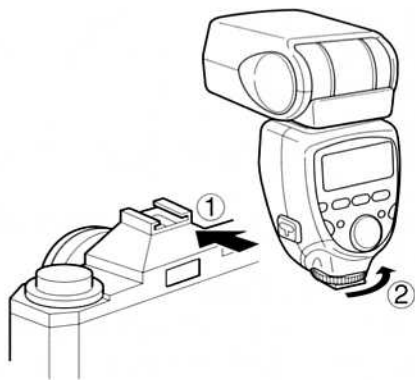
《ご注意》

- カメラによっては取り付けできない場合がありますので、カメラの説明書をよくお読みください。

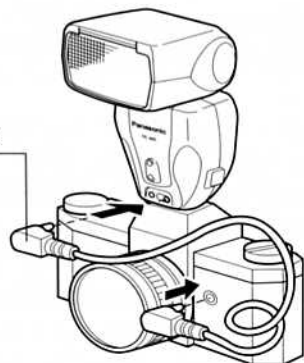
●ハンドライティング

ハンドライティングされる場合は、別売りの3mシンクロコード (PP-SC30A) をお求めください。

カメラにシンクロターミナルのない場合や、オートライティングをされる場合は、別売りのリモートセンサ2型 (PW-12S) をお求めください。



別売り30cm
シンクロコード



■シャッタースピードの決め方

●フォーカルプレーンシャッターの場合

△ 手ぶれ						○ 安 全		× 幕切れ		
B	1	1/2	1/4	1/8	1/15	1/30	1/60	1/125	1/250	1/500

《ご注意》

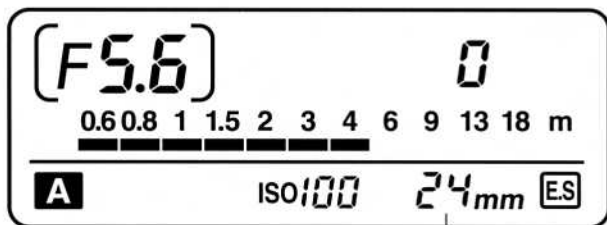
- カメラによってストロボ同調シャッタースピードが異なりますので、カメラの説明書をご確認ください。
- お手持ちのカメラのストロボ同調シャッタースピードより早いスピードをセットしますと、撮影画面の一部が暗くなる「幕切れ」という状態になります。
また、1/15秒以下で使用される時は手ぶれにご注意ください。

●レンズシャッターの場合

△ 手ぶれ						○ 安 全				
B	1	1/2	1/4	1/8	1/15	1/30	1/60	1/125	1/250	1/500

- 1/500秒以下のシャッタースピードに同調します。

■アングルズーム機構



カバーレンズ表示

使用されるカメラのレンズに最適の照射角度を選びます。ズームボタンを押すと次のように動きます。
 24mm→28mm→35mm→50mm→70mm→85mm→24mm
 使用されるレンズの焦点距離を選んでください。

※カバーレンズ表示は35ミリフィルム用です。それ以外のフィルムは下記の表を参照してください。

カバーレンズ	フィルムの種類							
	横 長					縦 長		APS フィルム
	35mm	6×4.5	6×6	6×7	6×9	6×4.5	6×7	
24mm	24mm	50mm	60mm	60mm	60mm	60mm	75mm	20mm
28mm	28mm	55mm	65mm	65mm	65mm	70mm	85mm	24mm
35mm	35mm	70mm	80mm	90mm	90mm	90mm	105mm	28mm
50mm	50mm	105mm	120mm	120mm	127mm	135mm	150mm	40mm
70mm	70mm	135mm	150mm	180mm	180mm	200mm	250mm	55mm
85mm	85mm	150mm	200mm	200mm	200mm	250mm	300mm	70mm
20mm	20mm	40mm	45mm	45mm	50mm	50mm	60mm	17mm
18mm	18mm	35mm	43mm	43mm	43mm	45mm	55mm	15mm

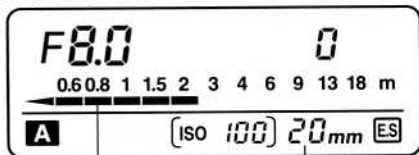
■ワイドパネルセット

18mm、20mmレンズを使用する時は、ワイドパネルをセットします。

●20mmレンズ使用時

ワイドパネルを矢印の方向に引き出します。

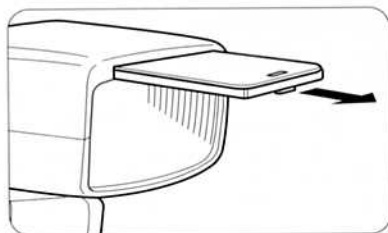
ワイドパネルを引き出すと同時に、表示パネルのカバーレンズ表示が自動的に20mm表示に切り替わり、距離表示も連動して切り替わります。



距離表示

カバーレンズ表示

※引き出す際、キャッチシートも一緒に出てきますが、押し戻してください。



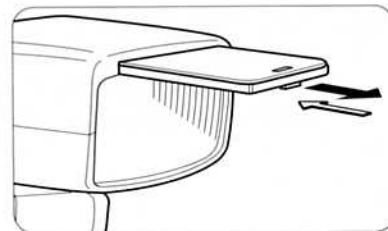
●18mmレンズ使用時

ワイドパネルを引き出してから、ズームボタンを押してください。表示パネル部のカバーレンズ表示が18mmに切り替わり、有効距離表示も連動して切り替わります。

もう一度、ズームボタンを押せば20mm表示に戻ります。

●【ワイドパネルの戻し方】

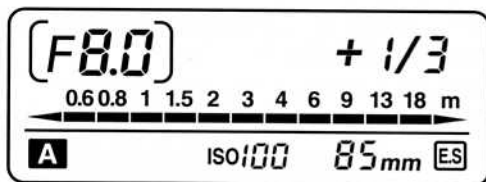
ワイドパネルを起こして、まっすぐ奥まで押し込みます。



オート撮影

●ストロボ側の設定

- (1) セレクトボタンを押して、ISO感度表示を選択します。
- (2) ロータリースイッチを回して、使用するフィルム感度に合わせます。(右図ではISO100)
- (3) モードボタンを押して、**A**にします。
- (4) セレクトボタンを押して、絞り値表示を選択します。
- (5) ロータリースイッチを回して、使用したい絞り値に合わせます。(図ではF8)
- (6) ズームボタンを押して、使用レンズの焦点距離に合わせます。(図では85mm) P13参照



●カメラ側の設定 (カメラの露出モードはマニュアルで使用してください。)

- (1) 上記で選んだ絞り値をカメラにセットします。
- (2) カメラのシャッタースピードをセットして準備完了です。P12 (シャッタースピードの決め方) 参照

※露出補正を行う場合

1. セレクトボタンを押して、露出補正表示を選択します。
2. ロータリースイッチを回して、設定します。
スイッチを左に回せばマイナスの露出、右に回せばプラスです。
表示パネルに数値が表示されます。

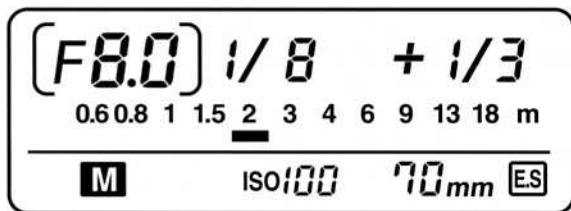
■オート撮影のご注意

- 被写体に比べバックが極端に黒く反射率の低い場合は露出補正をマイナス側に調整し、真白い壁のように反射率の高い場合はプラス側に調整してください。またバックが鏡、金屏風などの場合は反射率が高過ぎるためオート回路が誤動作しますので、マニュアルに切り替えてご使用ください。
- 昼間、屋外でオート撮影をしますと、周辺光が非常に明るいためオート回路が誤動作することがありますのでご注意ください。
- 被写体との間にしゃへい物があるとオート回路が正常に作動しませんのでご注意ください。
- デイトライト撮影など特殊な撮影はマニュアルにしてご使用ください。
- オートチェック
テストフラッシュボタンを押した瞬間にオートチェックランプが点灯し、表示パネルの[A]が点滅すればオート回路が作動したことを示します。

※オートチェックランプが点灯しない時、又は[A]が点滅しない時は、絞り値の設定を変えてください。



■マニュアル撮影



●ストロボ側の設定

- (1) セレクトボタンを押して、ISO感度表示を選択します。
- (2) ロータリースイッチを回して、使用するフィルム感度に合わせます。(上図ではISO100)
- (3) モードボタンを押して、**[M]**にします。
- (4) ズームボタンを押して、使用レンズの焦点距離に合わせます。(図では70mm) P13参照してください。
- (5) セレクトボタンを押して、絞り値表示を選択します。
- (6) ロータリースイッチを回して、使用したい絞り値に合わせます。(図ではF8)
撮影距離と被写界深度で適切な絞り値を選択します。
以上のモードで、最適な距離が表示されます。
表示された距離と実際の撮影距離が一致するよう、絞り値を切替えるか光量を切り替えてください。

●カメラ側の設定 (カメラの露出モードはマニュアルで使用してください。)

- (1) 上記で選んだ絞り値をカメラにセットします。
- (2) カメラのシャッタースピードをセットして準備完了です。
P12 (シャッタースピードの決め方) 参照

●絞り値の計算式による場合

絞り値の計算式によって撮影距離 (m) に合った絞り値 (F) をカメラにセットすれば正しい露出値が得られます。

$$\text{絞り値 (F)} = \frac{\text{ガイドナンバー}}{\text{撮影距離 (m)}}$$

ガイドナンバーの数値はP24を参照してください。

※露出補正を行う場合

1. セレクトボタンを押して、露出補正表示を選択します。
2. ロータリースイッチを回して、設定します。
スイッチを左に回せばマイナスの露出、右に回せばプラスです。
表示パネルに数値が表示されます。

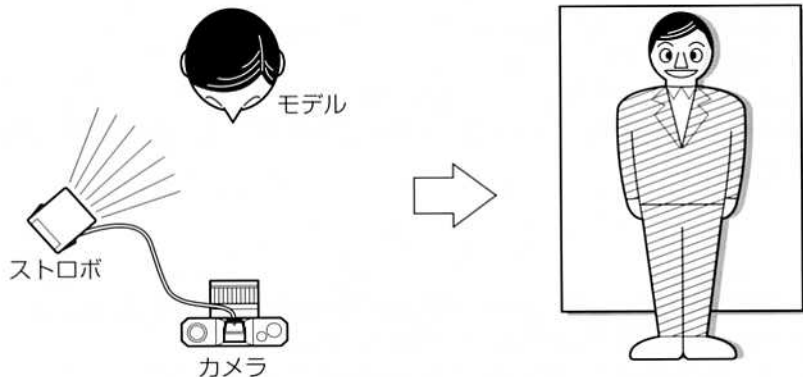
マニュアル (FULL) で3秒間隔以内で25回以上の連続発光は避けて下さい。

■モデリング発光

撮影の前に、予備発光させて被写体の影の状態を確認することができます。
パイロットランプが点灯していることを確認後、モデリング発光ボタンを押すと連続的に発光します。

《ご注意》

- モデリング発光は影の方向や面積を確認するもので、影の強弱は実際の撮影時と異なります。
明るい場所や、屋外では影は確認できません。

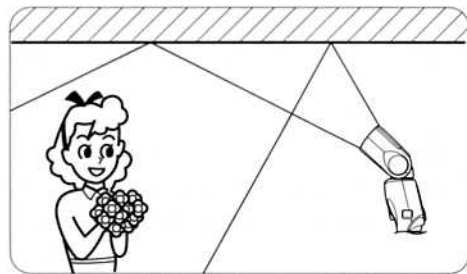


■ バウンス撮影

●バウンス撮影の場合にもオートの便利さが発揮でき、光を天井やその他のストロボ上方の反射面にバウンスさせて、ソフトな照明が得られます。

●バウンスロック機構

発光部は、通常の状態では不用意に動かないようロックされています。上下左右に発光部を動かす時はバウンスロック解除ボタンを押しながら動かしてください。



●オートバウンス撮影 ※有効距離表示は点滅します。

- (1) 操作は一般オート撮影と同じです。
- (2) 被写体の位置を決定後、ストロボのバウンス角度を決めます。
- (3) シャッターを押す前にテスト発光し、オートチェックランプが点灯、または表示パネルの[A]が点滅することを確認してください。

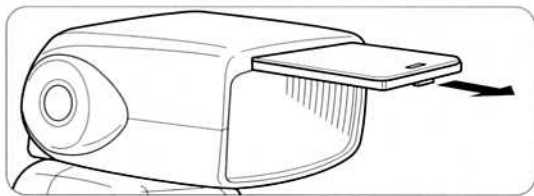
《ご注意》

- バウンス撮影の場合、撮影距離はストロボー反射面ー被写体の合計距離になりますが、反射面の反射率により通常のオート撮影よりオート有効距離が短くなりますのでご注意ください。
- バウンス撮影の場合、ストロボの直接光が被写体に当たらないようご注意ください。
- カラー撮影の場合、反射面が白色以外の場合はカラーバランスが崩れますのでご注意ください。

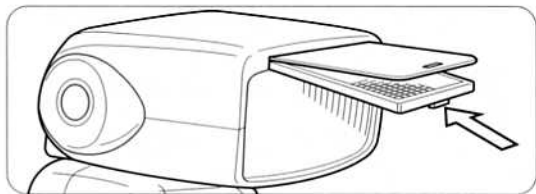
■キャッチライト撮影

バウンス撮影の場合、キャッチシートを使用することによって、被写体の目にストロボ光の一部を照射させ生き生きとした描写ができます。

(1) ワイドパネルと一緒にキャッチシートを引き出します。

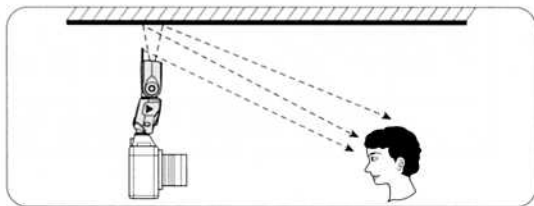


(2) キャッチシートを残して、ワイドパネルをまっすぐ押し戻します。



(3) 右図のように撮影します。

キャッチシートは強く引っばらないでください。
撮影後は、キャッチシートを収納してください。



■スレーブ機能の使い方

PE-36Siには、スレーブ機能が内蔵されています。

●PE-36S（以下、本機）を増灯側として使用する手順

- (1) カメラ側ストロボと本機の位置を決めます。
- (2) 本機のスレーブ受光窓をカメラ側ストロボの直接光または反射光が受けられる方向に向けます。
- (3) カメラ側ストロボと本機の電源を入れます。
本機はモードボタンで **[SLAVE]** にします。
- (4) 両方のストロボのパイロットランプの点灯を確認します。
- (5) カメラ側ストロボを発光させます。その光を受けて本機が発光するかどうか確認します。
- (6) 本機が発光しない場合は、スレーブ受光窓の方向、作動距離等を確認してください。P22参照してください。
- (7) 本機は光量の切り替えができます。撮影の条件に合わせてセレクトボタンを押し光量表示を選択し、ロータリースイッチで好みの光量を設定してください。

- 光量の切り替えは、マニュアル撮影時と同じです。P17を参照してください。



《ご注意》

- カメラ側のストロボはマニュアルでご使用ください。
- 本機は必ず **[SLAVE]** の位置でご使用ください。
- 本機はカメラのAF補助光やプリ発光でもスレーブ発光することがあります。本撮影の前に必ずテスト撮影を行って確認してください。

■スレーブ機能

●作動距離

作動距離とはカメラ側ストロボと増灯側ストロボ（本機）のスレーブ受光窓を正対させた時の最長距離です。カメラ側ストロボガイドナンバーにより標準作動距離は下表のようになります。

カメラ側のガイドナンバー	標準作動距離
G. N10 (ISO100・m)	10m

※周囲温度20℃で屋内または夜間時

《ご注意》

- カメラ側のストロボ発光面に対し本機のスレーブ受光窓の方向がずれると作動距離は短くなります。
- 屋外（日中）では、スレーブの感度が低下しますので、作動距離は短くなります。

■デライト撮影

逆光撮影（被写体の後方が明るい場合の撮影）や日中シンクロ（屋外）の場合に効果的な撮影方法です。
基本的には、被写体の背景の明るさと同程度の光量をストロボで与えることでバランスのとれた写真に仕上がります。

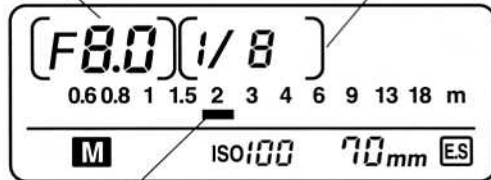
●撮影方法

- (1) 露出計で、撮影画面の明るさを測ります。（カメラ内蔵の露出計または市販の露出計使用）
- (2) 上記の撮影時シャッタースピードをカメラのX接点スピードに設定し、その値に合う絞り値を読み取ります。
- (3) 電源ボタンを押して、上記絞り値とISO感度と照射角度を合わせます。
- (4) モードボタンで、**[M]**を選択します。
- (5) セレクトボタンで光量切り替えを選択し、距離表示を見ながらロータリースイッチを、実際の撮影距離と一致するまで回していきます。
- (6) 上記のシャッタースピードと絞りをカメラにセットして撮影準備完了です。

●撮影例

例えば、お手持ちのカメラのX接点スピードが1/125秒、撮影距離が2mの場合、カメラの露出計で撮影画面の明るさを測り1/125秒、絞りF8と測光された時、表示パネルを図のように設定します。

- (1) F8に設定します。



- (2) セレクトボタンで
[]をこの位置に
移動させます。

- (3) 距離表示が2mの下に来るようにロータリースイッチを回します。

※この撮影例は、使用フィルムはISO100、レンズは70mmの場合を想定していますので、もしISO感度やレンズが異なる場合は、その数値に設定してください。

仕様

●ガイドナンバー (ISO 100・m)

カバーレンズ位置 光量表示	24mm	28mm	35mm	50mm	70mm	85mm	20mm	18mm
FULL	30.0	32.0	36.0	42.0	48.0	50.0	20.0	18.0
1/2	21.0	22.5	25.5	30.0	34.0	36.0	14.0	12.7
1/4	15.0	16.0	18.0	21.0	24.0	25.0	10.0	9.0
1/8	10.5	11.3	12.7	15.0	17.0	18.0	7.0	6.4
1/16	7.5	8.0	9.0	10.5	12.0	12.7	5.0	4.5
1/32	5.3	5.7	6.4	7.5	8.5	9.0	3.5	3.2
1/64	3.8	4.0	4.5	5.3	6.0	6.3	2.5	2.2
1/128	2.7	2.9	3.2	3.8	4.3	4.5	1.8	1.6

仕様

●せん光時間

オート	約1/30,000~1/650秒							
マニュアル	FULL	1/2	1/4	1/8	1/16	1/32	1/64	1/128
	約1/650秒	約1/800秒	約1/1,500秒	約1/3,000秒	約1/5,000秒	約1/6,500秒	約1/10,000秒	約1/12,000秒

●オート有効距離 (ISO 100)

カバレンス オートF値	24mm	28mm	35mm	50mm	70mm	85mm	20mm	18mm
1.4	約2.0~21.0m	約2.2~22.8m	約2.3~25.7m	約2.8~30.0m	約3.2~34.2m	約3.2~35.7m	約1.3~14.2m	約1.3~12.8m
2.0	約1.4~15.0m	約1.5~16.5m	約1.6~18.0m	約1.9~21.0m	約2.2~24.0m	約2.2~25.0m	約0.9~10.0m	約0.9~9.0m
2.8	約1.0~10.7m	約1.1~11.4m	約1.2~12.8m	約1.4~15.0m	約1.6~17.1m	約1.6~17.8m	約0.7~7.1m	約0.6~6.4m
4.0	約0.7~7.5m	約0.8~8.0m	約0.8~9.0m	約1.0~10.5m	約1.1~12.0m	約1.1~12.5m	約0.6~5.0m	約0.6~4.5m
5.6	約0.6~5.4m	約0.6~5.7m	約0.6~6.4m	約0.7~7.5m	約0.8~8.5m	約0.8~8.9m	約0.6~3.5m	約0.6~3.2m
8.0	約0.6~3.7m	約0.6~4.0m	約0.6~4.5m	約0.6~5.2m	約0.6~6.0m	約0.6~6.2m	約0.6~2.5m	約0.6~2.2m
11.0	約0.6~2.7m	約0.6~2.9m	約0.6~3.2m	約0.6~3.8m	約0.6~4.3m	約0.6~4.5m	約0.6~1.8m	約0.6~1.6m
16.0	約0.6~1.8m	約0.6~2.0m	約0.6~2.2m	約0.6~2.6m	約0.6~3.0m	約0.6~3.1m	約0.6~1.2m	約0.6~1.1m

●発光間隔

電 源	モード	マニュアル								
		オート	FULL	1/2	1/4	1/8	1/16	1/32	1/64	1/128
単3形アルカリ乾電池 (LR6)		約0.1~6.0秒	約6.0秒	約3.5秒	約2.0秒	約1.2秒	約1.0秒	約0.7秒	約0.7秒	約0.5秒
単3形ニカド電池 (1,000mA)		約0.1~3.5秒	約3.5秒	約2.3秒	約1.4秒	約0.9秒	約0.7秒	約0.5秒	約0.5秒	約0.5秒
単3形ニカド電池 (700mA)		約0.1~3.5秒	約3.5秒	約2.3秒	約1.4秒	約0.9秒	約0.7秒	約0.5秒	約0.5秒	約0.4秒
単3形ニッケル水素電池		約0.1~5.0秒	約5.0秒	約2.9秒	約1.8秒	約1.2秒	約0.9秒	約0.6秒	約0.6秒	約0.6秒
積層電源部2型(積層電池0120)		約0.1~1.5秒	約1.5秒	約1.0秒	約0.7秒	約0.5秒	約0.4秒	約0.3秒	約0.3秒	約0.2秒
TRパワーパック (LR12×6本)		約0.1~3.0秒	約3.0秒	約1.7秒	約1.0秒	約0.7秒	約0.5秒	約0.4秒	約0.4秒	約0.3秒
ACユニット4型		約0.1~3.5秒	約3.5秒	約2.3秒	約1.5秒	約1.1秒	約0.8秒	約0.6秒	約0.6秒	約0.5秒

●発光回数

電源	モード	オート	マニュアル
単3形アルカリ乾電池 (LR6)		約150~900回	約150回
単3形ニカド電池 (1,000mA)		約75~450回	約75回
単3形ニカド電池 (700mA)		約50~300回	約50回
単3形ニッケル水素電池		約100~600回	約100回
積層電源部2型(積層電池0210)		約500~2000回	約500回
TRパワーパック (LR12×6本)		約650~2500回	約650回

●照射角度

カバー レンズ	照射角度	フィルムの種類								APSフィルム	
		横				長					
		35mm	6×4.5	6×6	6×7	6×9	縦	長	6×4.5		6×7
24mm	上下60° 左右78°	24mm	50mm	60mm	60mm	60mm	60mm	60mm	60mm	75mm	20mm
28mm	上下53° 左右70°	28mm	55mm	65mm	65mm	65mm	65mm	70mm	70mm	85mm	24mm
35mm	上下45° 左右60°	35mm	70mm	80mm	90mm	90mm	90mm	90mm	90mm	105mm	28mm
50mm	上下34° 左右46°	50mm	105mm	120mm	120mm	127mm	127mm	135mm	135mm	150mm	40mm
70mm	上下26° 左右36°	70mm	135mm	150mm	180mm	180mm	180mm	200mm	200mm	250mm	55mm
85mm	上下23° 左右31°	85mm	150mm	200mm	200mm	200mm	200mm	250mm	250mm	300mm	70mm
20mm	上下85° 左右98°	20mm	40mm	45mm	45mm	50mm	50mm	50mm	50mm	60mm	17mm
18mm	上下90° 左右102°	18mm	35mm	43mm	43mm	43mm	43mm	45mm	45mm	55mm	15mm

●大 き さ 74 (W) × 123 (H) × 100 (D) mm 303g (電池なし)

●別売付属品 30cmシンクロコード (PP-SA/P3)、3mシンクロコード (PP-SC30A)、TRパワーパック2型 (PW-222)

●オート受光角 約20度

●バウンス角度

上下-7°~90° (-7°、0°、45°、60°、75°、90°にクリックストップ)
左右180°~0°~90° (左30°、60°、90°、120°、150°、180°、右30°、60°、90°にクリックストップ)

●光質 (色温度)

昼光用カラー「デイトライタイプ」および白黒フィルムに最適 (約5500°K)

■アフターサービスについて

1) 保証書（別に添付してあります）

保証書は販売店からお渡し致しますから、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みの上、大切に保存してください。

保証期間—— お買い上げ日から1年間です。

2) 修理を依頼される時

取扱説明書をよくお読みいただき、再度ご点検のうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店か、別紙の修理サービスショップリストのお店にご相談ください。

- 保証期間中は、保証書の規定にしたがって無償修理させていただきますので、お買い上げの販売店か、別紙のサービスショップに保証書を添えて現品をご持参ください。
- 保証期間が過ぎているときは、お買い上げの販売店、もしくは別紙のサービスショップへご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご要望により有料で修理致します。

3) 補修用性能部品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年間です。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

ご購入年月日	年 月 日	品番 PE-36S
ご購入店	☎ () —	

パナソニック株式会社

パナソニック フォト・ライティング株式会社

〒569-1193 大阪府高槻市幸町1番1号

TEL 072-682-7626

SP602-94
S0604